

とよ

・「負けない校長」を目指して	1
・令和7年度 大分県小学校長会研究計画	2~3
・第65回大分県小学校長会研究大会 日田大会に向けて	4
・研究活動紹介	5
・先輩校長から	6
・令和7年度 大分県小学校長会役員	7
・令和7年度 郡市校長会研究部長(小学校)	8
・編集後記	8

宇佐市立横山小学校
校長
杉 木 文 武



宇佐市下庄にある双葉の里 双葉山資料館

「闘神の原点 宇佐 双葉の里」



「負けない校長」 を目指して

大分県小学校長会
会長 吉 良 正 幸

令和7年度がスタートし、3か月が過ぎようとしている。今年度も学校は、いじめ対応、不登校児童の学びの保障、教員不足、処遇改善・働き方改革など、様々な課題と向き合いながら学校経営を続けている。子どもたちが目の前にいる以上、様々な課題・変革から目を背けるわけにはいかない。まさに教育現場は「リスクとの戦い」である。

先日テレビでおなじみの林修先生の番組に、『歴史上の人物で、負ける側の3つの共通点』という興味深い内容があった。林先生の分析によると、3つの共通点は、「情報不足 慢心 思い込み」だそうだ。勝つ側の共通点は、運が左右することもあるので明言できないが、負ける側にははっきりとした条件があるらしい。校長業務と照らしてみると、この3つの共通点は大切なポイントであるかもしれない。

『情報不足』

危機に直面した時、判断の決め手は「情報」である。より多くの情報を分析し、良い方向性を導くのは、校長の大切な仕事である。

また、校長は最新情報や自分の苦手な分野についての知識も求められる場面がある。急速な時代

の変化の速さに追いつけるように、知識もアップデートし続けなければならない。さらに、正確な情報を得るためにはそれなりの人脈も必要となり、情報を得るための環境づくりも重要である。

『慢心』

成長を阻害する大きな要因。「このくらい大丈夫だろう」という曖昧さが、結果的に児童の事故や保護者とのトラブルを引き起こしてしまうケースをこれまで何度も経験してきた。

『思い込み』

人々の価値観や世の中の状況は目まぐるしく変化している。自分の考えも時の流れに合わせ更新しなければならないのかもしれない。「今までは何とかなった」とか「絶対〇〇すべき」などの考えは時として危険を招くことにつながる。

思考を柔軟にし、様々な状況を想定しておくことは危機回避の重要ポイントだと考える。

振り返ってみると、これまで自分が経験した判断ミスは、この共通点に当てはまることは事実である。とはいえ、校長がリスクを意識しすぎて神経質な表情をしていても職員の不安を煽ってしまう。笑顔でいながら心は常に高いアンテナを張っておくことが大切なかもしれない。

校長会活動の意義のキーワードは、『つながり・学び・国に声を届ける』である。

情報を共有することによってつながりが深まり、校長会が最大の研修の場になること。そして、「リスクに負けない校長」を目指し、未来を担う子どもたちのため学校を明るく元気にしていきたい。

令和7年度 大分県小学校長会研究計画

1 研究主題 「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

副主題

～ 心豊かでたくましく ともに生きるための力を育む
活力ある学校づくりを推進する校長の理念と指導性 ～

2 主題及び副主題に係る情勢

全国連合小学校長会は、真摯に研究と実践を積み重ね、我が国の小学校教育の充実・発展と教育諸条件の整備に努め、多くの成果を収めてきた。その成果を踏まえ、令和元年度から研究主題を「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし、その実現を目指し取組を進めている。

現在、情報化やグローバル化の進行、絶え間ない技術革新、急速に進む少子高齢化などにより、社会全体の活力低下、人間関係の希薄化などが表面化するといった、先を見通すことが難しい時代を迎えている。また、学校においては、学力や体力の向上、豊かな心の育成、安全教育・防災教育の充実、いじめ・不登校への適切な対応、人権教育や特別支援教育の推進など児童の健全育成、さらには人間関係をつなぐ力の育成などが重要な教育課題となっている。「社会に開かれた教育課程」、「カリキュラム・マネジメント」、「主体的・対話的で深い学び」、さらに教育DXの推進による一人一人に最適な教育の実現など、これまでにない大きな変革の時期に入っている。

大分県小学校長会においては、これまでに、夢と希望に向かう子どもの育成に向けた確固たる校長の理念と指導性の視点から研究を深め、成果を上げてきた。今後も、次代を担う子どもたちが、これからの変化の激しい時代を生き抜くために必要となる、予測困難な状況においても主体的に自ら新たな価値を創り出す力や、多様な立場の他者

と協働しながら最適解を生み出す力など、持続可能な社会の創り手となるための資質・能力の育成を目指していかねばならない。

私たちは、時代の要請や社会の変化、児童や学校、地域の実態を踏まえつつ、山積する教育課題や経営課題の解決に向けて状況を深く認識し、必要な学校経営ビジョンを示し、その実現を目指す必要がある。そうすることで、新しい時代にふさわしい子どもたちの夢と希望が実現できる学校づくりへとつなげていきたいと考える。

以上のことを踏まえ、令和7年度大分県小学校長会は、全国連合小学校長会の研究主題のもと、副主題を「心豊かでたくましく ともに生きるための力を育む 活力ある学校づくりを推進する校長の理念と指導性」と設定し、研究部長会及び第65回研究大会日田大会、各種研究大会を通して、活力ある学校づくりを推進する経営の責任者である校長として、新たな時代に求められる理念と指導性を究明していきたい。

3 研究内容

研究副主題のもと、以下の5つを活動の重点に据え、研究部長会や研究大会を中心にして校長の指導性を究明していく。そして、第65回大分県小学校長会研究大会日田大会を開催し、その成果を第66回大分県小学校長会研究大会由布大会につなげていく。また、研究部長会や研究大会などの還流を通して各都市の研究を積極的に推進する。

《 重点 》

- (1) ミドルリーダーなどを効果的に機能させ、活力ある学校づくりを目指す校長の資質能力を高める研究活動の推進
- (2) 社会に開かれた創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善に努め、「ともに生きるための力」を育む教育の推進
- (3) 教職員の資質能力の向上と働き方改革の推進
- (4) 今日的教育課題を的確に把握し、その解決を図る研究活動の推進
- (5) 第65回大分県小学校長会研究大会日田大会の開催に向けた研究・組織運営の充実、推進

4 研究活動

(1) 研究部長会（年3回）

教育内容・方法に関する研究協議・調査を行う。特に「社会に開かれた教育課程」の具現化を図るため、教育課程の編成・実施・評価・改善状況、学校組織の活性化に向けての校長の指導性などを把握し、今日的教育課題の解決に向けた研修・研究を行う。

(2) 会報「とよ」「研究のあゆみ」の発刊などの広報活動

学校経営に関する情報交流と会員相互の連携強化を図るとともに、活力ある学校づくりに関する研究資料とする。

(3) 各種研究大会

下記の研究大会に積極的に参加し校長自身が研鑽に励むとともに、実践交流を深め各都市の研究に生かす。

① 第65回大分県小学校長会研究大会 日田大会

○令和7年11月21日(金)

○開催地 日田市

全体会場：日田市民文化会館
『パトリア日田』

分科会場：日田市民文化会館
『パトリア日田』

日田市複合文化施設

『AOSE（アオーゼ）』

○大会主題

「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

・副主題

～心豊かでたくましく ともに生きるための力を育む 活力ある学校づくりを推進する校長の理念と指導性～

○全員参加とする

② 第77回全国連合小学校長会研究協議会 福岡大会

第77回九州地区小学校長協議会研究大会
福岡大会

※令和7年度、全連小福岡大会は九小協福岡大会を兼ねる

○令和7年10月16日(木)・17日(金)

○開催地 福岡県福岡市

全体会場：福岡サンパレス

〔メイン会場〕

福岡国際会議場

〔サテライト会場〕

分科会場：福岡サンパレス

福岡国際会議場

○大会主題

「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

・副主題

～志をもち 多様な他者と協働しながら次代を創る人財を育む学校経営の推進～

○参加者数 約2,800名（大分県は61名）

(4) その他

大分県教育委員会との連携を図りながら、教育施策等の理解と情報交換に努める。

第65回大分県小学校長会研究大会 日田大会に向けて

〔大会主題〕

「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
～ 心豊かでたくましく ともに生きるための力を育む
活力ある学校づくりを推進する校長の理念と指導性 ～

第65回大分県小学校長会研究大会が、「日田」の地で開催されます。コロナ禍での大会中止やオンライン開催などの困難を乗り越え、令和5年度から全員が参集して対面での大会開催となりました。本大会も昨年度参加者からのご意見なども検討したうえで、参集対面型での研究大会を開催する方向で実行委員会を立ち上げて準備しているところです。

さて、全国連合小学校長会は、令和元年度から研究主題を「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし、その実現を目指し取組を進めています。

現在、最先端技術の高度化、グローバル化の進展、地球規模の課題や国際情勢の不安定化など、先行きが不透明で、予測困難な時代を迎えています。加えて、人間関係の希薄化、子どもの貧困化など、様々な社会課題が存在する中、教育の果たす役割はますます重要となっています。昨年10月に開催された第76回徳島大会の大会宣言文でも下記のように取り上げられています。『子どもたちが今後も未来社会を豊かに健やかに生き抜くことができるようにするため、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる力を身に付けられるようにすることが求められている。そのため、小学校教育においては、誰一人取り残さず、全ての子どもたちの可能性を引き出すため、個別最適な学びと協働的な学びのより一層の一体的充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」を実現することにより、「生きる力」を確実に育むことが重要である。』

大分県小学校長会においても、夢と希望に向かう子どもの育成に向けた確固たる校長の理念と指導性の視点から研究を深め成果を上げてきました。今後は、子どもたちが予測困難な状況でも主体的に新たな価値を創り出す力や多様な立場の人々と協働しながら最適解を生み出す力など、持続可能な社会の創

り手となるための資質・能力の育成が求められています。以上のことを踏まえ、令和7年度大分県小学校長会は、全国連合小学校長会の研究主題のもと、副主題を「心豊かでたくましく ともに生きるための力を育む 活力ある学校づくりを推進する校長の理念と指導性」と設定し、活力ある学校づくりを推進する経営の責任者である校長として、新たな時代に求められる理念と指導性を究明していきます。

第65回大分県小学校長会研究大会日田大会での討議や情報交換の還流を通して、各都市の研究の一助になることを願っております。

結びに「日田市」は、松下村塾、適塾と並ぶ江戸時代の私塾である、廣瀬淡窓の開いた咸宜園があります。また、昔から天領として栄え、筑後川の支流である三隈川や豆田町の情緒ある町並みなどが観光地としては有名です。最近では、進撃の巨人関連の観光地にも有名になりつつあります。さらに、5月総会後に講演くださった川邊哲也氏の故郷である大山町から中津江・上津江方面をぬけて竹田や九重へ向かう自然満喫ルートや天瀬の温泉で心も体も温めてお帰りいただくほかほかルートもおおすすめです。グルメとしては、様々な麺類や川魚料理をはじめ、美味しいものがたくさんあります。お土産として酒類、果物、農産加工品、和洋スイーツなどもお勧めです。日田市を満喫・堪能していただけると幸いです。

大分県小学校長会研究大会「日田大会」

- 期日 令和7年11月21日(金)
○場所 全体会場：日田市民文化会館
『パトリア日田』
分科会場：日田市民文化会館
『パトリア日田』
日田市複合文化施設
『AOSE(アオーゼ)』
○講演 講師：池田 雄 氏
(大分銀行 常務取締役)



【佐伯市校長会研究活動】…………… 佐伯市校長会研究部

1. はじめに

佐伯市校長会は、小学校17校、中学校12校の計29校で構成されている。本会は「国及び県と連動した研究課題を設定し、学校教育の責任者として、自ら研鑽に励み、指導力の向上を目指しながら、地域社会や保護者の信頼に応える」ことができるよう努力を重ねてきている。

2. 本年度の研修について

(1) 研究の重点課題及び研究内容

- ① 学校組織の活性化に向けての校長の指導性を高める研究活動の推進
 - 学校と地域が連携・協働する「チーム学校」としての組織力を高める学校マネジメント
 - 地域と連携した教育活動（CS）の推進
 - 教職員の資質・能力の向上と働き方改革の推進
- ② 今日的な教育課題を的確に把握し、その解決を図る研究活動の推進
 - 社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善を図るカリキュラムマネジメント

○児童の資質・能力を高めるための「主体的・対話的で深い学び」の実現

○基礎的・汎用的能力を育成するキャリア教育の取組

(2) 研究計画

- 6月 第1回研究部会・夏季研究会について
- 8月 夏季研究会
県小学校研究大会発表内容の審議
- 11月 第2回研究部会・冬季研究会について
- 1月 冬季研究会
講師による教育課題に関する講演
県中学校研究大会発表内容の審議
- 2月 第3回研究部会（研究のまとめ）

3. おわりに

佐伯市校長会では、小学校間、中学校間だけでなく小中学校間でも様々な情報を共有し、さらに連携を密にし、課題解決にむけて取り組む体制を確立している。

【大分市校長会研究活動】…………… 大分市校長会研修部

1. はじめに

大分市小学校長会は、県小学校長会と同じ研究主題・副主題及び大分市学校教育指導指針に基づき、6回の定例研修会において以下の7つの方法・内容で研究を推進する。

2. 本年度の研修について

(1) 今年度重点テーマ

会員相互が連携し、校長としての感性を磨き、理念と指導性を高める研修

(2) 研修方法・内容

- ① 全体研修
定例会の最初に全体研修を行う。主に、国県の情勢について知見を広げる。
- ② 課題研修
法規、いじめ・不登校対策、人権教育など今日的課題を精選し、そのテーマに沿った講師を選定する。
- ③ 地区別研修
全52校を東西南北の4地区に分け、各地区で議題を設定し、協議・情報共有を行う。

④ テーマ別研修

県研究大会で例年大分市から4つの実践報告を行う。報告別の4グループで、レポートの審議を行う。

⑤ 学校現地研修

東西南北の4地区のローテーションに従って、年に各地区2校ずつ現地校で研修を行う。当該校の学校経営説明、授業参観などを通して、知見を広げる。

⑥ 実践事例研修

新任校長が学校現地研修の中で、実践を報告した後、校長の指導性について協議を深める。新任代表1名は、全体研修で報告する。また、新任全員の事例を研究誌として印刷・製本する。

⑦ 先進地視察報告

今日的課題に対応する先進校に毎年1名以上大分市から派遣し、その報告を通して研鑽を積む。

3. おわりに

広報・厚生部が定期的に発行する会報で、研修の還流を行う。

校長先生方にエールを送ります

元別府市立朝日小学校長 新 原 克 哉

本年3月末で、校長としての3校8年間の勤務を終えました。今回、「先輩校長から」とのテーマをいただきましたが、大した助言などはできそうもないのでこれまでを振り返りつつ、エールを送りたいと思います。

さてこの8年で、芯の通った学校組織の取組は第3ステージで一区切りつき、学校マネジメント推進指針へと変わりました。その重要性は理解しているものの、今後も毎年の方針が出される度に、チェックや見直しなどを続けていくことになりそうです。

また、特にここ数年、学校現場での人材不足・人手不足が顕著となりました。校長としては、しっかりと学校経営に取り組みたいところですが、私も含めて、人材不足・人手不足のために、まずは経営よりも運営を優先せざるを得ない場合も少くないのではないのでしょうか。

振り返ってみると、私が昇任した頃に比べ、学校を取り巻く情勢は、管理職・教職員ともに、よ

り苦労を伴う方向に加速度的に向かっているように感じています。

今後こうした状況が続くでしょうから、校長の役割はますます大変になるだろうと思います。校長になりたいと思う人も減っていくのかもしれませんが。

今の私の立場で言うのもおこがましいのですが、「それでも、誰かが校長となって、学校の舵をとらなければならない」と思うのです。

その意味で、自ら舵をとる役目を引き受けて学校経営にご尽力されている各小学校の校長先生方に、心より敬意を表します。

また私は、皆さんだからこそ、舵を託されたのだとも思っています。先の見えない情勢の今だからこそ、学校には校長先生方のお力が必要です。ご苦労も多々あるかと思いますが、どうか健康で、これからも学校経営に邁進されることを心より願っています。

子どもたちと遊ぶこと

中津市立豊田小学校長 吉 田 浩

各校の校長室には、歴代校長の顔写真が飾られていることが多いと思いますが、本校の校長室にも歴代校長の顔写真が飾られています。しかし、なぜか初代校長の写真はなく、一番端は第2・4代（明治27年～明治35年）の藍原校長。その後、第46代（令和3～5年）の三浦校長までは欠けることなく飾られています。私の前任の第47代となる芝原校長の顔写真は飾られていないのです。その理由は定かではありません。『誰がこの顔写真を飾るのか？もしかして次の代の校長！？』という疑問を抱きましたが、まだ、誰にも相談していません。『前任校長の顔写真を自分が用意しようか？それとも一人とばして、自分の分から飾ろうか？』などと考えてみたりもします。とりあえず、第48代校長として、初代（不明）から第47代芝原校長までの歴代校長が紡いできた「豊田小学校」の歴史と伝統を第49代の校長へ、しっかり引き継げるように、日々の教育活動を進めているところです。ところで、大先輩である歴代校長の皆さんの中に、私の人生にとって欠かせない人物が存在します。それ

が、第33代（平成2～5年）黒川香苗校長です。この方は私が5年生の時の恩師です。その頃から、成人した後も交流を続けさせていただきました（仲人も引き受けてくださいました）。更に、私が小学校の教員免許を平成4年に取得する際には、黒川校長が勤務していた豊田小学校で教育実習を引き受けてくださいました。そういう意味では、豊田小学校は私の教員人生の原点でもあります。そんな豊田小学校に赴任することができたのは本当に嬉しいことでした。今年の3月、引き継ぎのために校長室に入った私を黒川校長はあの頃と同じように優しい眼差しで見つめてくれました。その時、教育実習の前に黒川校長にいただいた言葉「吉田君。まずは子どもたちとたくさん遊びなさい。」を思い出しました。「遊ぶことから関係性を築いていく」教師としての大切な心構えを教えてくれた黒川校長に見守られ、今日も子どもたちとたくさん遊んでいます。「まずは子どもたちと遊ぶこと」。それが私の学校マネジメントの大事な基盤です。

令和7年度 大分県小学校長会役員

No.	役職名	氏名	勤務校	郵便番号	学校所在地	学校電話
1	会長	吉良正幸	大道小	870-0822	大分市大道町2丁目9番57号	097-543-2093
2	副会長	姫野貴裕	東大分小	870-0921	大分市萩原1丁目10-30	097-558-3659
3	理事	花崎淳	今津小	879-0103	中津市植野1371番地	0979-32-0002
4	理事	瀬口卓士	桂陽小	879-0606	豊後高田市玉津1053	0978-22-2075
5	理事	河野徳勝	糸口小	879-0315	宇佐市大字上時枝600番地の1	0978-32-0274
6	理事	安部恵	大平山小	874-0840	別府市大字鶴見1991番地	0977-25-3766
7	理事	末松武治	杵築小	873-0001	杵築市大字杵築216番地	0978-62-2059
8	理事	堀敬一	日出小	879-1506	速見郡日出町2610番地1	0977-72-2011
9	理事	田中博恵	国見小	872-1402	国東市国見町中850番地	0978-82-0004
10	理事	野見山準五	西の台小	870-0874	大分市にじが丘3丁目1717-1	097-543-8756
11	理事	安藤稔	金池小	870-0026	大分市金池町3丁目1番90号	097-534-2500
12	理事	大平高広	佐志生小	875-0001	臼杵市大字佐志生3015-1番地	0972-68-3920
13	理事	土谷陽史	津久見小	879-2434	津久見市立花町1番7号	0972-82-5201
14	理事	古長史哉	西庄内小	879-5433	由布市庄内町高岡417番地1	097-582-0017
15	理事	藤原優子	佐伯東小	876-0857	佐伯市常盤西町5番1号	0972-23-0481
16	理事	吉岡次郎	南部小	878-0023	竹田市大字君ヶ園1014番地	0974-63-1064
17	理事	佐々木直子	緒方学園 緒方小	879-6601	豊後大野市緒方町馬場100番地	0974-42-3150
18	理事	江田友樹	光岡小	877-0078	日田市北友田1丁目1133-2	0973-23-6258
19	理事	河村雅文	淮園小	879-4724	玖珠郡九重町大字菅原1274番地	0973-78-8812
20	次長(会計)	木村睦男	寒田小	870-1123	大分市大字寒田684番地の4	097-568-7911
21	研究部長	工藤俊郎	明野西小	870-0163	大分市明野南2丁目6番1号	097-558-0924
22	研究副部長	衛藤俊明	判田小	870-1108	大分市判田台東1丁目2番1号	097-597-0078
23	研究副部長	高野雄一	佐賀関小	879-2201	大分市大字佐賀関1104番地	097-575-0662
24	研究副部長	高田昌弘	別保小	870-0127	大分市大字森町963番地の1	097-527-3011
25	研究副部長	安部誠	三佐小	870-0108	大分市三佐5丁目6番8号	097-527-2063
26	議長	末松武治	杵築小	873-0001	杵築市大字杵築216番地	0978-62-2059
27	議長	藤原優子	佐伯東小	876-0857	佐伯市常盤西町5番1号	0972-23-0481
28	会計監査	安藤稔	金池小	870-0026	大分市金池町3丁目1番90号	097-534-2500
29	会計監査	大平高広	佐志生小	875-0001	臼杵市大字佐志生3015-1番地	0972-68-3920
30	会計監査	土谷陽史	津久見小	879-2434	津久見市立花町1番7号	0972-82-5201

令和7年度 郡市校長会研究部長（小学校）

No.	郡市名	氏名	勤務校	郵便番号	学校所在地	学校電話
1	中津市	八丁誠一	南部小	871-0057	中津市1309番地	0979-22-0301
2	豊後高田市	徳本修	香々地小	872-1202	豊後高田市香々地3546	0978-54-2017
3	宇佐市	友成利光	高家小	879-0309	宇佐市大字東高家288番地	0978-32-0304
4	別府市	佐藤健	別府中央小	874-0926	別府市京町818番地の26	0977-22-0281
5	杵築市	汐見美樹	八坂小	873-0015	杵築市八坂2782番地の1	0978-62-2516
6	速見郡	西村陽子	豊岡小	879-1507	速見郡日出町大字豊岡3354番地1	0977-72-2333
7	くにさき地区	諸富理	国東小	873-0504	国東市国東町安国寺623-2	0978-72-1412
8	大分市	園田貴史	横瀬小	870-1173	大分市大字横瀬1109番地-1	097-541-5582
9	臼杵市	佐藤元宏	臼杵小	875-0041	臼杵市大字臼杵65番地	0972-62-4175
10	津久見市	大野光代	青江小	879-2461	津久見市上青江3537番地	0972-82-2054
11	由布市	甲斐浩司	東庄内小	879-5413	由布市庄内町大龍1835番地	097-582-0241
12	佐伯市	広津留智	八幡小	876-1106	佐伯市大字戸穴2942番地	0972-27-8004
13	竹田市	猪股良継	都野小	878-0204	竹田市久住町大字栢木6037	0974-77-2003
14	豊後大野市	原田悦子	三重学園三重小	879-7104	豊後大野市三重町小坂3959	0974-22-0148
15	日田市	河津晋哉	有田小	877-1371	日田市諸留町2687-1	0973-24-2175
16	玖珠郡	河野智	八幡小	879-4521	玖珠郡玖珠町大字太田1456番地の1	0973-72-0414

編集後記

5月2日、金曜日。昨日の雨が嘘のような晴天に恵まれ、令和7年度大分県小学校長会総会が開催されました。受付や会場内で「お久しぶり」「お元気でしたか」などと、声を掛け合う校長先生方の姿が多く見られました。また、「ご苦労様」や「お疲れさま」などと、当日の係をしている校長先生方を労う声も聞こえてきました。県下各地より200名を超える小学校長が会する意義を改めて感じさせられました。

総会で、運営方針や会務事業計画、収支予算書、研究計画が承認され、今年度の小学校長会の活動がスタートしました。会長の挨拶にあった、校長会の活動のキーワード『つながり・学び・国に声を届ける』。多くの校長先生が近況報告し合ったり、懐かしい顔を見つけ「元気そうだ」と笑顔を見せたりしていて、まさに『つながり』を感じる時間にもなりました。

さて、会報「とよ」は、発行から47年目を迎えます。今号では、表紙絵として宇佐市にある双葉の里の迫力ある写真と会長の巻頭言を。さらに、今年度の研究計画や第65回小学校長会研究大会日田大会に向けた概要、大分市と佐伯市校長会の研究活動紹介、別府市と中津市の先輩校長からの

メッセージを掲載しております。お忙しい中ですが、校長先生方には一読していただき、今後の研究の方向や日田大会の取り組みなどを確認していただきたいと思います。

また、予測不能な社会を生き抜く力を身に付けた子どもの育成に向け、社会に開かれた教育課程の実施と改善、いじめ・不登校への対応、働き方改革の推進など、山積みされた諸課題の解決や校長自らリーダーシップを発揮した、活力ある学校づくりに努めるための一助となれるよう、今後も「とよ」により、校長先生方へ情報発信していきます。

最後になりますが、今回もご多用中にもかかわらずご寄稿いただきました校長先生方に心より感謝申し上げ、編集後記といたします。

発行者 大分県小学校長会
会長 吉良正幸

住所 大分市下郡字長谷496-38
大分県教育会館内
TEL.097-556-2655

印刷所 大分市岩田町2丁目3番27号
㈲舞鶴孔版
TEL.097-578-8287